

ドーナツのブックリスト

親子で国産小麦のドーナツを作ってみよう！

※資料は貸出中場合があります。

『ドーナツのあなのはなし』

パット・ミラー文 廣済堂あかつき 2019年6月刊

どうしてドーナツには穴が開いているのか知っていますか？この本には、船乗りのハンソン・グレゴリーが穴の開いた「あなあきドーナツ」を発明するまでの物語が描かれています。まあいドーナツ型の絵とともに、広大なドーナツの穴の歴史が楽しめます。

『ドーナツの歴史物語』

ヘザー・デランシー・ハンウィック著 原書房 2015年10月刊

ドーナツは、時代や国境を越えてどのように人々に親しまれてきたのか。その起源をさかのぼって、古代から現代までの姿を、各国の文化的な背景と一緒に学ぶことができます。古代ギリシアで食べられていたドーナツの前身から、アメリカにおけるドーナツ企業の拡大まで、形を変えて歴史に名を残してきたドーナツの変遷を辿ることができる1冊です。

『ドーナツの旅ー全国各地でみつけた至福のドーナツを400種紹介！ー』

溝呂木一美著 グラフィック社 2022年12月刊

ドーナツ探求家が各地取材して見つけた、数々のドーナツの魅力がこの1冊に詰まっています。各店舗の内装から定番メニューまで、色鮮やかな写真とともにお店のこだわりが紹介され、ドーナツめぐりのガイドブックとしても、色とりどりのドーナツを眺めて写真集としても楽しむことのできる1冊になっています。

『なんたってドーナツー美味しくて不思議な41の話ー』

早川茉莉編 筑摩書房 2014年10月刊

ドーナツへの思いが詰まった41の物語がまとめられている1冊。エッセイストや詩人、料理研究家など、書き手によってドーナツとの関わりは様々です。家庭の、行きつけのお店の、文学の中の、様々なドーナツが読者を楽しませ、懐かしい気持ちにさせてくれます。ぜひ記憶の中にあるドーナツを思い浮かべながら読んでみてください。

『トコトンやさしい小麦粉の本』

大楠秀樹著 日刊工業新聞社 2023年10月刊

ドーナツだけでなく、麺やケーキの材料にもなる小麦粉。ひとくちに「小麦粉」と言っても、品種も多く、用途によって強力粉から薄力粉まであります。小麦粉のことをトコトン知ってみませんか。

ほかにも図書館にはたくさんの資料があります。
どうぞご利用ください！



調布市立図書館公式
キャラクター じろ